

譜例

Adagio ma non troppo e molto espressivo.

Violino I

Violino II

Viola

Violoncello

6

7

8

9

10

11

12

sf *p*

cresc.

cresc.

sf *cresc.*

12

13

14

15

dim. *p*

dim. *p*

dim. *p*

sf *p*

I. 譜例に関する設問に答えなさい。

受験番号 _____

- 1) 譜例の①～⑤の、丸で囲まれた2音間の音程を答えなさい。複音程の場合は単音程で答えること。

① () ② () ③ () ④ () ⑤ ()

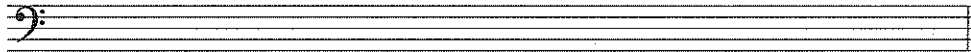
- 2) 譜例の⑥～⑩の四角で囲まれた和音の種類に、適切なものをア～カから選びなさい。

⑥ () ⑦ () ⑧ () ⑨ () ⑩ ()

ア：長三和音 イ：短三和音 ウ：増三和音 エ：減三和音 オ：属七和音 カ：その他の和音

- 3) 譜例の5小節目から7小節目の調性を答えなさい。 ()

- 4) ア (Violino Iの7小節目) で示された音を下中音とする自然短音階の平行調の音階 (上行形) を、下記五線上に指定された音部記号で臨時記号を用いて書きなさい。



- 5) 譜例のViolaの10～15小節を、◆で指定された通り移調して書きなさい。
スラー・表情・強弱等の記号は書かなくて良い。調号を用いず臨時記号のみで書くこと。

◆増4度下に、へ音記号で。



- 6) a) 譜例冒頭に書かれた「Adagio ma non troppo e molto espressivo.」の意味を日本語で書きなさい。

()

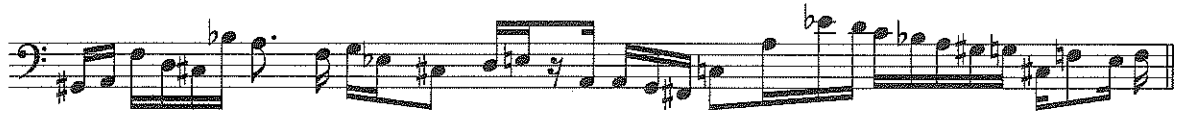
- b) イ (2小節目Vn.) で略記された強弱記号の正式なスペルを、アルファベットで書きなさい。
また、記号が指し示す意味を日本語で書きなさい。

正式なスペル () 意味 ()

受験番号 _____

II. 次の設問に答えなさい。

- 1) 次の旋律の調性を判別し、適切な調号・臨時記号をつけ、指定の拍子記号に従った正しいリズム表記に書き直しなさい。

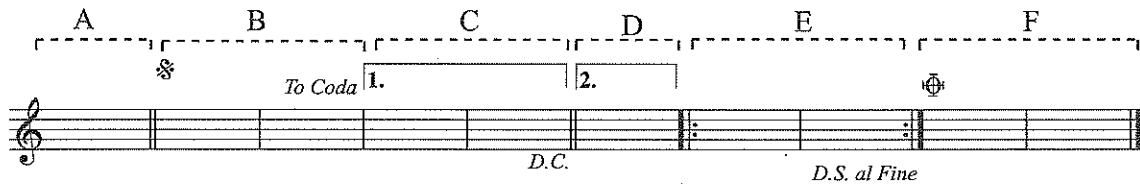


- 2) 次の楽語の意味を日本語で答えなさい。

1 : quintetto () 2 : ottava bassa ()

3 : nobilmente () 4 : furioso ()

- 3) 次の楽譜A~Fの各部分が、実際の演奏順番となるよう書きなさい。



()